

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1054	(H.26)No.	1054
-----------	------	-----------	------

事務事業名	障害者人材センター費		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	高齢・障害支援室	福永 ひとみ	

会計区分	事業コード	168019
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	民生費	障害者福祉費
項	社会福祉費	(小事業名)
目	障害者福祉費	障害者人材センター費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
	小施策	1	社会参加と交流・啓発の促進
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	障害者福祉の向上
事業内容	障害者の就労促進のための相談業務や訓練に対する助成・支援を実施する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	人材センター登録者:177人 相談件数:808件 三重県障害者委託訓練制度:2人 名張市就労支援事業:3人	人材センター登録者:130人 相談件数:800件 三重県障害者委託訓練制度:2人 名張市就労支援事業:3人	人材センター登録者:130人 相談件数:800件 三重県障害者委託訓練制度:2人 名張市就労支援事業:3人	人材センター登録者:130人 相談件数:800件 三重県障害者委託訓練制度:2人 名張市就労支援事業:3人	人材センター登録者:130人 相談件数:800件 三重県障害者委託訓練制度:2人 名張市就労支援事業:3人

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	53千円	30千円	30千円	30千円	30千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 53	30	30	30	30
人工数					
職員	0.46人	0.46人	0.46人	0.46人	0.46人
臨時職員等	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人
②概算人件費	(0千円) 5,150千円	5,150千円	5,150千円	5,150千円	5,150千円
①+②総事業費	(0千円) 5,203千円	5,180千円	5,180千円	5,180千円	5,180千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
障害者のニーズはあるが、受け皿が不足しているため就労に結びつけることが難しい。	公共職業安定所や障害者相談センターなどの関係機関との連携をさらに緊密にする。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	障害者の職場見学など就職活動への支援 公共職業安定所や障害者相談センターなどの機関との連携 就労の前段階として職場実習のあっせん等
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市障害者福祉計画、名張市障害福祉計画
ハローワークでは、ケアすることが難しい障害者の就労に向けたきめ細やかな支援のためには、障害者人材センターの役割が不可欠である。	